

のり海況速報 第2報 (23-2)

平成23年10月13日発行
千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 10/11：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(10/11-13)、東京湾口海況図(10/13)
内湾底びき網研究会連合会(10/11)
モニタリングポスト(10/11：国土交通省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

先月下旬から急激に降下した表層水温(図1)は今月になってほぼ横這い状態となり、全域でほぼ22℃前後になっています。塩分は、依然内湾中央から北部の西側で28以下と低塩分状態となっていますが、千葉県側ではほぼ平年並みに回復しています。

また、内湾縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2)をみると、水温は表層から底層までほぼ一様に分布していますが、塩分はまだ成層状態を示しています。

一方、黒潮は先月下旬半ばあたりから変動しつつあり、13日現在は八丈島の東付近で蛇行した後、房総半島南東岸を離れながら北東方向に流れています。

このため、東京湾口海況図によると、13日現在湾口部の水温は23℃前後となっていますので、現状では東京湾口への沖合水の流入は少ない模様です。

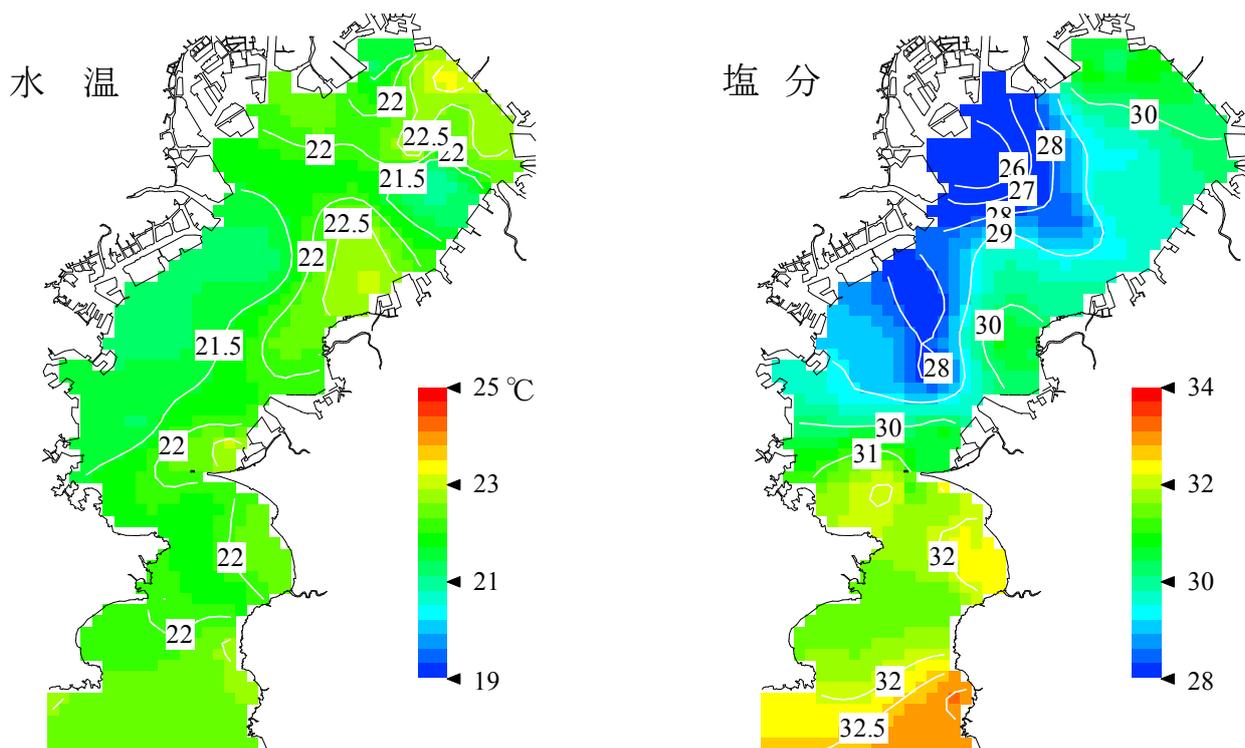


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾～内房北部：平成23年10月11日)

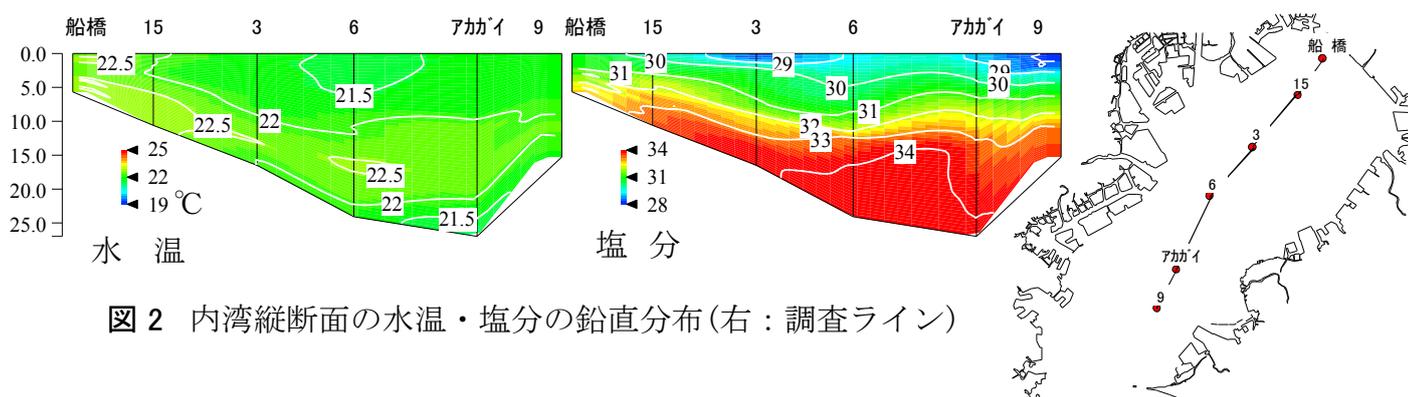


図2 内湾縦断面の水温・塩分の鉛直分布(右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮はアクアラインの北側海域で再び発生し、千葉県側ではpH8.4～8.5、透明度1m台を示し、茶褐色を呈する程の濃い赤潮状態でした。優占種は小型ケイ藻のスケルトネマ・シュードニッチアなどでした。

表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも千葉県側では非常に少なくなっています。内房北部地区のノリ漁場では一部のノリ葉体で色調の低下がみられ始めていますので、今後の動きには注意が必要です。

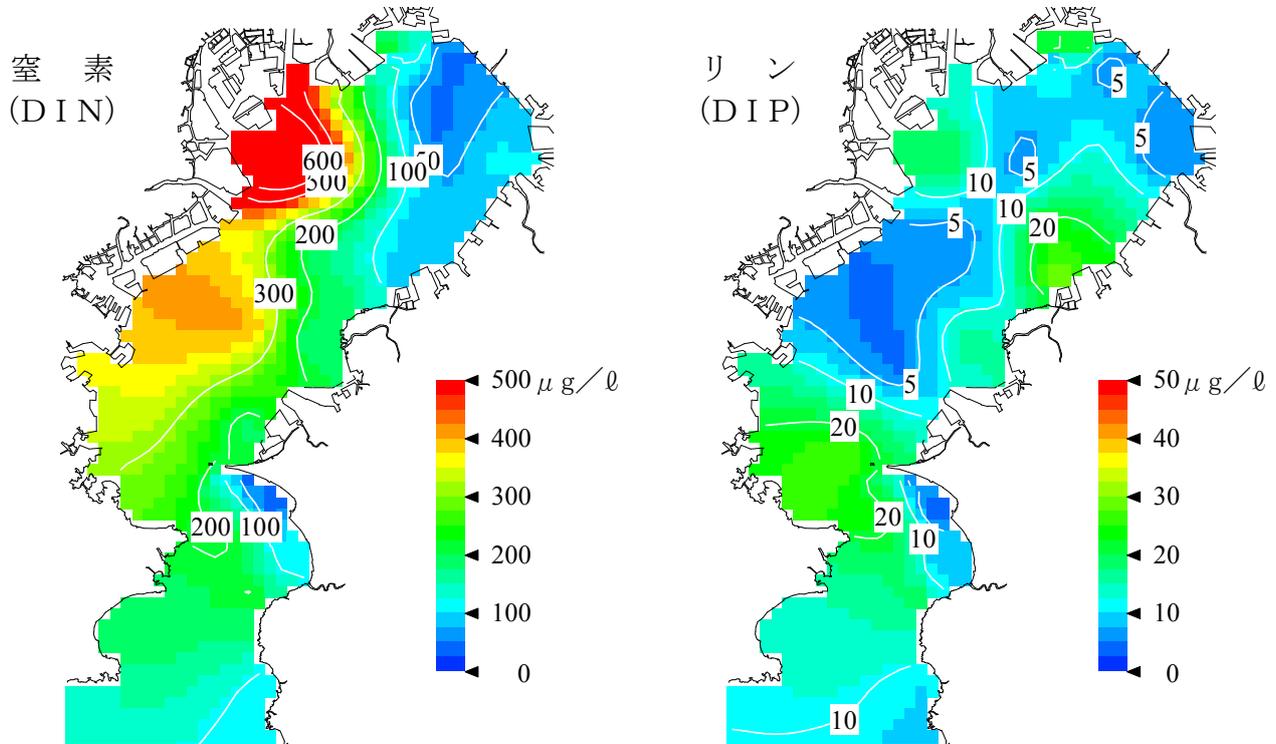


図3 表層の栄養塩濃度の分布 (内湾：平成23年10月11日)

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”ノリ養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html